

ごみはルールを守って 正しく出しましょう

皆さんは、ルールを守ってごみを出していますか？

最近、「収集日時・場所」や「分別区分」などを守らないでごみを出す人がいます。そのため、ごみステーションに取り残される「ルール違反のごみ」が多く見かけられます。

ルールを守らないでごみを出すと、ごみの収集に支障をきたすばかりか、ステーションを管理している自治会や地域住民の方に、多くの迷惑をかけることとなります。

各家庭に配布しているチラシ（「家庭ごみ」の正しい分け方・出し方）をよく読んで、必ずルールを守ってごみを出してください。

■出し方の注意点

○ごみは、収集日の朝8時までにだしててください。

○きちんと分別して、決められた指定袋・処理券を使用してください。

○必ず指定袋・処理券に氏名などを記入してください。

○地区外のステーションにごみを出す場合は、必ず管理者の同意を得てください。

■もえるごみの注意点

大型のぬいぐるみ、厚手の

衣類（ジャンパーなど）、シューズなどは粗大ごみです。

■もえないごみの注意点

スプレー缶など、ガスが入っていたものは必ず穴を開け、ガスを抜いてください。

■資源ごみの注意点

ガラスびん・ペットボトルの収集は、飲料用、食品用のものに限定しています。

なお、空き缶や陶磁器類などは資源ごみとして収集できません。ご注意ください。

一升びん・ビールびんなどのリターンナブルびんは、購入店で引き取ってもらうようにしてください。

■剪定枝の注意点

剪定（せんでい）した枝のうち、葉や小枝は、指定袋に入れて、もえるごみで出してください。

葉や小枝を取り除いた直径3センチ・長さ1メートル以下の枝は、直径30センチの大きさに束ねたものであれば、特例として指定袋に入れずに、もえるごみで出すことができます。（2束まで）

直径3センチ以上10センチ未満の剪定枝は粗大ごみとなりますので、ご注意ください。

■市で収集できないごみ
次のごみは、収集できません。購入店や専門の処理業者

に依頼して、適正に処理してください。

○収集できないごみ
テレビ、エアコン、冷蔵庫、洗濯機、パソコン、オイルエレメントなどの自動車部品、天日温水器、農機具（農業用資材含む）、産業廃棄物など

■多量ごみの注意点
一度に多量のごみを出すときは、道前クリーンセンター（小松町大頭）に直接搬入するか、許可業者に依頼して、適正に処理してください。

多量のごみをステーションに出した場合は、取り残されることがあります。

■収集できる数

1家庭につき次の数まで申し込めます。

○バッテリー 2個まで

○タイヤ 5本まで

○消火器 2本まで

■収集場所
市庁舎、各総合支所

■申込期間

8月1日（月）～8月19日（金）

お住まいの区域（旧市町区域）で申込先が異なります。ご注意ください。

○旧東予市区域の方
東予総合支所市民生活課

○旧丹原町区域の方
丹原総合支所市民生活課

○旧小松町区域の方
小松総合支所市民生活課

生活環境係（内線2453）

バッテリー・タイヤ・消火器 (特別粗大ごみ)を収集します

不用となったバッテリー、タイヤ、消火器を9月下旬に収集します。事前に予約を受け付けますので、収集を希望する方は担当課へお申し込みください。

○旧西条市区域の方
市庁舎別館衛生課

○旧西条市区域の方
市庁舎別館衛生課

○旧東予市区域の方
東予総合支所市民生活課

○旧丹原町区域の方
丹原総合支所市民生活課

○旧小松町区域の方
小松総合支所市民生活課

生活環境係（内線2453）

お知らせ 平成16年度のごみ処理状況

家庭系ごみの収集量	年間2万9,228トン
年間排出量	1人当たり251キログラム
処理費用（収集運搬・処理）	8億106万円

平成16年度に市内で収集された「家庭系ごみ」の量は、ほぼ前年度並み（0.4%減少）でした。今後ともより一層、ごみの減量化と適正処理にご協力ください。

■ごみを減らす方法

- 必要のない物は買わない。
- まだ使える物はむやみに捨てず、再利用する。（リサイクルの推進）
- ごみの分別を徹底する。
- 「生ごみ」などは、水切りをしっかりとる。
ごみ処理量は重量で計算するため、水分も処理量の一部となります。
- 生ごみ処理機や処理容器を利用して、減量化・堆肥化をする。（処理機・処理容器の購入には、市の補助制度があります）
- 古紙などの資源ごみは集団回収へ出す。（集団回収団体には、市の補助制度があります）

■問合せ 詳しいごみの減量方法や補助制度などについては、市庁舎別館衛生課、または各総合支所市民生活課へお問い合わせください。

＜家庭系ごみ収集量（年間2万9,228トン）の内訳＞			
可燃ごみ	⇒ 2万2,794トン	不燃ごみ	⇒ 2,214トン
粗大ごみ	⇒ 1,029トン	資源ごみ	⇒ 3,191トン
＜資源ごみ収集量（年間3,191トン）の内訳＞			
びん	⇒ 無色184トン	茶色210トン	その他45トン
ペットボトル	⇒ 110トン		
古紙	⇒ 新聞1,159トン	雑誌1,104トン	ダンボール379トン